令和８年度　御船が丘小　学校だより

みふねっ子通信



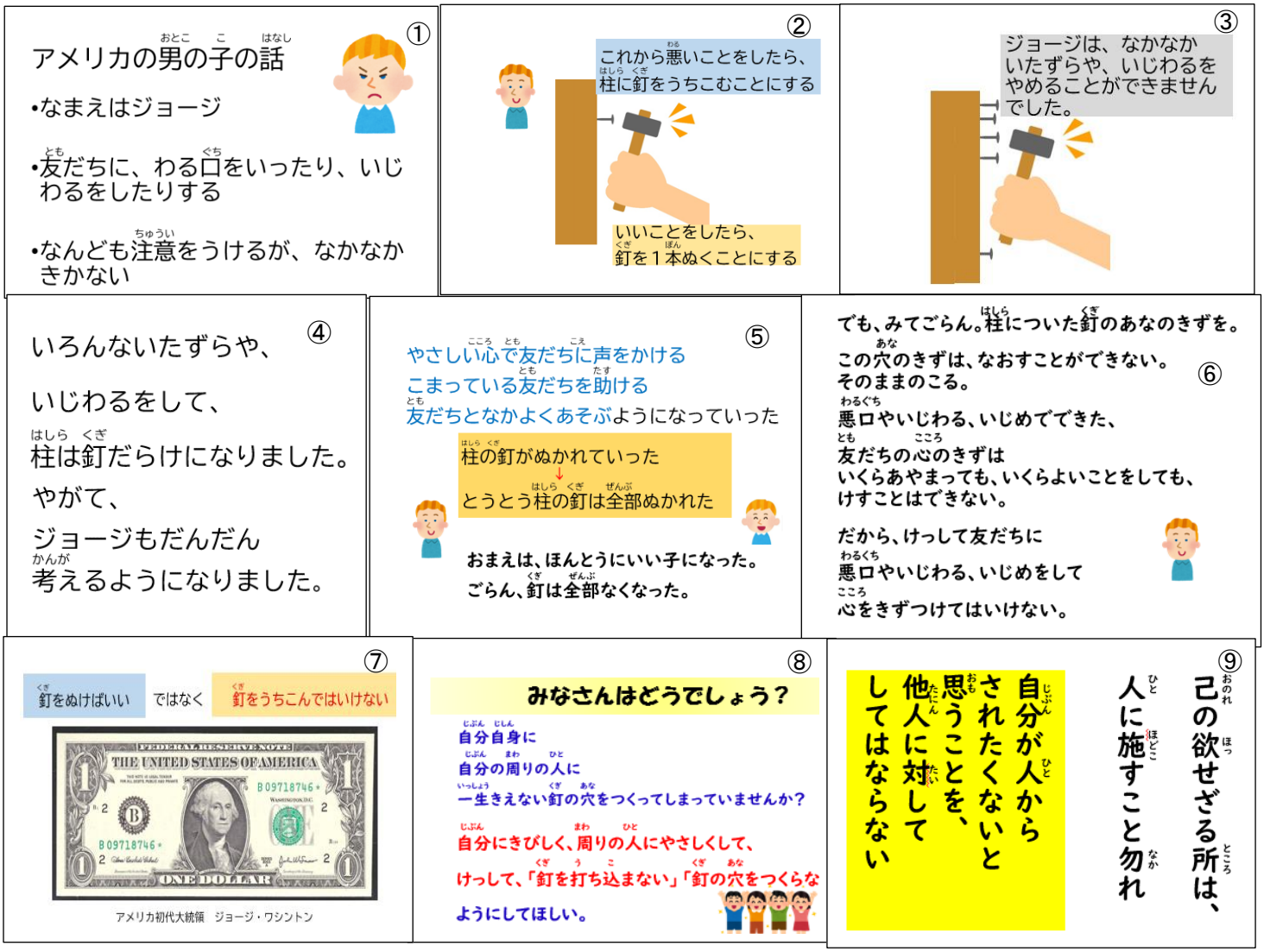
第5号
令和8年10月15日（木）
文責：岩永　宏紀

２学期がスタートしました！

三連休明けの１３日（火）から２学期がスタートしました。

今年度は、４月当初から「めざす子ども像」の「心をみがく」を特に頑張っていこうと話をしてきています。２学期の始業式では、以下のスライドを使って、子ども達に「自分がされていやなこと」「相手がいやがること」は「しない！言わない！」ことについて話をしました。スライドは、アメリカの初代大統領ジョージ・ワシントンが子どもの頃、父親から教えられたことの紹介です。

２学期始業式での校長の話（10 月 13 日）



父親は、ジョージに「一度打たれたくぎ穴は消えない。いくら反省しても、良いことを重ねても、一度傷つけた相手の心の傷は消えないんだよ。だから決して人を傷つけてはいけないんだ。」と言ったそうです。みんなが安心して過ごせる学校を作っていくために、子どもたち一人一人が本気になって、本校の約束「相手がいやがることはしない！言わない！」を守って、心の居場所がある明日も来たい学校になることを心から願っています。

１学期を振り返って

今年度は、学校教育目標に「自分で自分のことを決め、乗り越えていこうとする児童」の育成を掲げて、大人が先回りをしすぎず、様々なことに子どもたちが主体的に当事者意識をもって活動する場を設けています。このことが、「夢や目標に向け挑戦し続ける子ども」にもつながっていくと考えています。

出来栄えよりも、失敗を恐れず、自分たちで考え行動した過程を賞賛し、「主体的に挑戦するみふねっ子」を６年間かけて育てていきたいと思います。そんな主体的に挑戦する子どもたちを今後も温かく応援していただければ幸いです。

【これまで大人がやってきたもので、子どもたち主体の活動に変わってきたもの】

・入学式・卒業式での受付、接待、ドアの開閉
・運動会での受付、接待、全体運営、団長による閉会式での話
・全校朝会や始業式、終業式でのピアノ伴奏
・全校朝会での生活の話（月の生活目標の話）
・全校除草作業（美化委員会の子どもたちの企画運営により）等



※ここに挙げたものは、高学年が中心となっていますが、日々の生活の中でも、発達段階に合わせて、低学年から自分たちで「自己選択・自己決定」できる場を少しずつ増やしていっています。

みふねっ子除草作業を行いました！（10 月 13 日）

９月の育友会除草作業が雨のため中止になり、伸びた草をどうしようかと迷っていたところ、美化委員会の子どもたちが「全校除草作業」を呼びかけてくれると快く言ってくれました。

「自分たちの学校は、自分たちで美しく！」を美化委員会の子どもたちが何度も全校に呼びかけてくれたおかげで、元気坂や道路沿いの斜面、運動場、学級園など、草刈り機で刈れないところを、全校の子どもたちがきれいに除草してくれました。また、刈った草を美化委員会の子どもたちが１０台の一輪車を使って集めてくれました。

学校の除草作業を通して、学校をよりよくしていきたいという主体的な子どもたちの姿が見られてとても嬉しくなりました。



